

政策提言フォーマット

1 団体概要

団体名

所在地

GENKIとちぎ
〈地球環境・女性連絡会栃木県支部〉

栃木県宇都宮市雀宮3-8-10

代 表

藤井 夏江

担 当

阿久津 裕子

連絡先 tel

028-624-4190

fax

同上

e-mail

akutsuf@aol.com

団体の活動プロフィール

1992年2月「地球環境・女性連絡会議（GENKI）」の発足を受け同7月にとちぎ支部を設立。当初は環境問題に対する認識も浅く、地域の草の根活動として中央の情報に接しながら勉強会を重ね力をつけてきた。龍村 仁監督のガイヤシンフォニー第一番上映と監督と佐藤初女さんのトーク、第二番と湯川れいこさんのトークなどのイベント開催を始め、地域の環境フォーラムへの参加、遺伝子組み替え食品の勉強会、長岡グリーントラスト及び宇都宮市美術周辺の清掃等、環境問題と名のつく活動を展開してきた。

1999年以降は環境学習にテーマを絞り、県内各小学校に呼びかけ環境かるた作成のための標語と絵を募集し、優秀な作品を選び採用し発表、商品として完成させた。

また、並行して環境紙芝居のシナリオを作りそれに絵をつけて配役を決め、市のコミセン祭りや県のクリーンアップフェア等にも参加。今後は、総合学習の一環として各小学校や公民館事業への参加、地域ぐるみの環境学習として「環境かるた大会」のイベント開催を予定している。

政策提言フォーマット

2 政策提言概要

(政策提言のエッセンスを下記フォーマットに基づいて紹介して下さい。)

(1) テーマ 環境学習の推進とNGOの役割
(2) 政策対象分野 環境教育
(3) 政策手段 行政〈学校・自治体〉、地域〈慈善団体〉企業及びNGOとの連携により環境学習を推進するために「環境学習基金」を創設する。これらの基金への寄付行為にたいする税の優遇処置が必要である。
(4) 提言概要 環境問題とは何か、環境問題の何を、どんな形で、どのように教えるか、具体的な施策が見えていない。そこで、環境学習を家庭、学校、地域、企業が一体となって推進するための環境学習プロジェクトチーム作りが必要である。 ① 年代別、個別的課題別の学習プログラム作成 ② 学校、公民館事業、自治体と環境NGOの協同作業による教材や資料等のソフト開発 ③ 産業界別企業〈自動車、家電、流通、物流、サービス等〉による環境保全への取り組みの情報公開と環境学習への支援 ④ ロータリークラブ、ライオンズクラブ等による環境学習支援 具体的手法としては、小学校レベルではNGOによる出前授業、ゲーム感覚で覚えられる紙芝居やかかるた、CDの活用、中学校ではインターネット活用、地域レベルでは「環境カルタ大会」や「未来環境子供会議」「環境学習でわかったこと」などのイベント開催。これらのイベント開催には環境NGOがコーディネーターを努める。
(5) 政策の推進に当たっての検討事項 ・ 企業及び行政の支援体制 ・ NGOの規模と体力 ・ 環境学習の成果測定と継続性